

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41100 公衆浴場設備改善事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	1	保健衛生費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保	
			目	1	保健衛生総務費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2844							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化	概要	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を行う。
----	----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,161	2,161	1,800	2,267	2,267	106
特定財源	国費()						
	県費(公衆浴場設備改善対策事業費2/3)	1,200	1,440	1,200	1,200	1,511	71
	その他()						
一般財源		961	721	600	1,067	756	35
個票枝番	主な事業内容						
	公衆浴場設備改善事業	2,161	2,161	1,800	2,267	2,267	106

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,800
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,800	1,800	1,800	0	
1,200	1,200	1,200	0	
600	600	600	0	
査定額	説明			
1,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 5事業所中3事業所へ補助 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。
評価等	・ほとんどの市内公衆浴場事業者が、経営者の高齢化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えており、現行の設備改善対策事業費補助金の補助率では、大規模な修繕等の対応が困難と考えている。 ・高山市公衆浴場組合等において、利用者増加に向けたイベントを開催しているが、依然として経営は厳しい状況であるため、利用促進のための取組みに対する支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する補助を行うとともに、補助対象の拡大について、国・県に対して継続して要望する。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の改善を促進する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 5事業所中4事業所へ補助 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。
評価等	・ほとんどの市内公衆浴場事業者が、経営者の高齢化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えており、現行の設備改善対策事業費補助金の補助率では、大規模な修繕等の対応が困難と考えている。補助率や補助対象の拡大の検討が必要である。 ・高山市公衆浴場組合が実施する利用促進の取組みに対する支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する補助を行うとともに、補助対象の拡大について、国・県に対して継続して要望する。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の改善を促進する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・市内公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化を図る。
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41110 畜犬登録事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	1	保健衛生費		施策概要	2	公衆衛生環境の確保	
			目	1	保健衛生総務費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2844							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・狂犬病の発生及びまん延予防、狂犬病の撲滅を図り、公衆衛生及び公共の福祉の向上につなげる。	概要	・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 ・狂犬病予防注射の実施 ・飼い主等に対するマナー啓発の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		586	551	620	601	463	△ 88
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(畜犬登録等手数料)	586	551	620	620	463	△ 88
一般財源		0	0	0	△ 19	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	畜犬登録事業	586	551	620	601	463	△ 88

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		600
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
667	620	620	0	
667	620	620	0	
0	0	0	0	
査定額	説明			
620				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,853頭 ・狂犬病予防注射の実施 4,484頭(集合注射:市内170か所、動物病院等での個別接種) ・犬のふん尿マナー啓発看板作成(4件設置)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・登録や注射履歴データ管理の簡素化・効率化を図る方法の検討結果に基づき対応する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,907頭 ・狂犬病予防注射の実施 4,371頭(集合注射:市内170か所、動物病院等での個別接種) ・犬のふん尿マナー啓発看板作成(H28は設置希望なし) ・登録、注射履歴データ管理の簡素化と効率化を図るため、管理システムを更新に努める必要がある。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。 ・管理システムの更新により、住所管理が正確にできるようになった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・新たな管理システムを活用し、未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射の接種率向上のため、狂犬病予防注射未実施者に対する接種勧奨を実施 ・ペットの飼い主のマナー向上・動物愛護の啓発
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41120 公衆衛生推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約	
	担当課	市民保健部 健康推進課		内線		2844	款	4		衛生費	個別分野	5		保健
							項	1		保健衛生費	施策概要	1		健康づくりへの支援
							目	1		保健衛生総務費	根拠計画			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持及び公衆衛生の向上を図る。 東京電力福島第一原子力発電所事故による東日本17都県産食品中の放射性物質検査を実施し、市民等の不安の軽減を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 保健・衛生関係事務 関係団体負担金 消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品中の放射性物質検査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		487	386	3,644	5,392	5,306	4,920
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金、骨髄移植ドナー支援事業費1/2)	35	43	43	43	35	△ 8
	その他()						
一般財源		452	343	3,601	5,349	5,271	4,928
個票枝番	主な事業内容						
	公衆衛生推進事業	487	386	3,644	5,392	5,306	4,920
	骨髄移植ドナーに対する助成						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
4,599	2,074	2,214	△ 1,430	
170	175	175	132	
4,429	1,899	2,039	△ 1,562	
査定額	説明			
1,794				
420	骨髄提供者および勤務する事業所への補助			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨公衆衛生協議会負担金 飛騨口腔保健協議会負担金 消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品の放射性物質検査の実施・結果の公表 (月2回・年間24回実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に務める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H28完了
- H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨公衆衛生協議会負担金 飛騨口腔保健協議会負担金 消費者庁貸与機器による東日本17都県産食品の放射性物質検査の実施・結果の公表 (月2回・年間24回実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に務める。 骨髄移植ドナーに対する助成制度を創設する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・骨髄移植ドナー支援事業補助金を計上
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 骨髄移植ドナーに対する助成に要する経費を計上
市長査定の考え方	・骨髄移植ドナー(雇用事業所を含む)に対する助成に要する経費を計上

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41200 健康づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	5	保健	
			項	1	保健衛生費		施策概要	1	健康づくりへの支援	
			目	2	予防費		根拠計画	健康たかやま21、高山市食育推進計画		
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804.2844							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進協議会の開催。 ・市内ウォーキングコースの案内看板の整備 ・市民と行政が一体となった「市民健康まつり」の開催 ・集団健康教育、食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まわり会) ・健康手帳の交付、一般健康相談、重点及び総合健康相談
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
運動習慣者(30分・週2回以上の運動を1年以上継続)の割合(20~64歳)	22%	24%	34%
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合	(H26) 58.5%	60.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費(職員人件費を除く)		3,835	2,584	3,621	3,621	2,551	△ 33
特定財源	国費()						
	県費(健康増進事業費2/3)	707	690	707	707	705	15
	その他()						
一般財源		3,128	1,894	2,914	2,914	1,846	△ 48
個票枝番	主な事業内容						
	市民健康まつりの開催	492	341	500	500	336	△ 5
	健康教育事業	2,196	1,305	1,580	1,580	1,460	155
	一般健康相談	345	421	300	300	169	△ 252
	フレイル予防講座(H29~)						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		3,500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
6,857	3,321	3,321	△ 300	
674	674	674	△ 33	
6,183	2,647	2,647	△ 267	
査定額	説明			
600				
1,620				
300				
410				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進協議会の開催、市内ウォーキングコースの点検整備、ウォーキングイベントの開催(丹生川・莊川・朝日) ・市民健康まつりの開催(平成27年10月2日、参加者数2,600人) ・健康手帳の交付(303人)、一般健康相談(824回 2,050人)、重点及び総合健康相談(201回 585人)、集団健康教育(127回 1,693人) ・食生活改善推進員による食生活改善事業参加者数(2,550人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースについては、広く市民の利用率を高めるため、コースの周知や案内看板の整備を進める必要がある。 ・市民健康まつりについては、市民の健康ニーズへの対応のため、参加団体の拡大や内容の拡充を検討する必要がある。 ・食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースの周知・啓発、案内看板整備を実施し、利用を促進するためのイベントを開催する。 ・市民健康まつりは、自主的に健康づくり活動に取り組んでいる団体等、新規参加団体を募集し、継続的に実施する。 ・健康手帳の交付、一般健康相談、重点及び総合健康相談等各種相談事業の周知・啓発に努めながら事業を継続していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進協議会の開催、市内ウォーキングコースの点検整備、ウォーキングイベントの開催(高山・上宝地域) ・市民健康まつりの開催(平成28年10月1日、参加者数2,600人) ・健康手帳の交付(469人)、一般健康相談(814回 1,793人)、重点及び総合健康相談(194回 554人)、集団健康教育(124回 1,572人) ・食生活改善推進員による食生活改善事業参加者数(2,263人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースについては、広く市民の利用率を高めるため、コースの周知や案内看板の整備を進める必要がある。 ・市民健康まつりについては、市民の健康ニーズへの対応のため、参加団体の拡大や内容の拡充を検討する必要がある。 ・食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースの周知・啓発、案内看板整備を実施し、利用を促進するためのイベントを開催する。 ・後期高齢者医療担当課と協働してのフレイル予防対策の推進 ・市民健康まつりは、自主的に健康づくり活動に取り組んでいる団体等、新規参加団体を募集し、継続的に実施する。 ・健康手帳については、厚生労働省の方針変更により、市町村経由の紙方式の交付から、厚生労働省ホームページからのダウンロード方式に変更
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・健康増進の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・ウォーキングコースの見どころ案内看板や休憩ベンチの設置
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・高齢者のフレイル予防対策に要する経費を計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41210	こころの健康支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	5	保健	
				項	1	保健衛生費		施策概要	1	健康づくりへの支援	
				目	2	予防費		根拠計画	健康たかやま21		
担当課	市民保健部 健康推進課		内線	2804							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個別の相談や啓発を行い、こころの健康の保持増進を図る。	概要	・メンタルヘルスチェックシステムの導入によるこころの健康の啓発 ・精神保健福祉士によるこころの健康相談
----	------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		476	428	390	390	345	△ 83
特定財源	国費()						
	県費(こころの健康支援事業費1/2)	272	272	270	270	172	△ 100
	その他()						
一般財源		204	156	120	120	173	17
個票枝番	主な事業内容						
	こころの健康支援事業	476	428	390	390	346	△ 82

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
389	390	390	0	
194	270	270	0	
195	120	120	0	
査定額	説明			
390				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの導入(アクセス数:61,266件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(10回 22人) ・メンタルヘルスに関する出前講座、イベント等でのパンフレットの配付
評価等	・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:40,386件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(11回 27人) ・メンタルヘルスに関する出前講座、イベント等でのパンフレットの配付
評価等	・メンタルヘルスチェックシステムのアクセス件数が減少していることから、更なる利用啓発に努める必要がある。 ・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・健康増進の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・こころの健康相談の実施 ・メンタルヘルスチェックシステムの継続
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41220 健康診査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約	・健康診断の受診率の向上を目指した取り組みや地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます。
			款	4	衛生費		個別分野	5	保健		
			項	1	保健衛生費		施策概要	2	予防対策の推進		
			目	2	予防費		根拠計画	健康たかやま21			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2804								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・各種検診を充実し、疾患の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る。	概要	・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票を送付 ・4月中旬～3月中旬まで各種検診を実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん)検診受診率	39.5%	40.6%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		111,686	110,490	130,473	130,473	116,636	6,146
特定財源	国費 (疾病予防対策事業費1/2)	2,500	547			31	△ 516
	県費 (健康増進事業費2/3)	2,690	2,478	2,670	2,670	3,212	734
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		106,496	107,465	127,803	127,803	113,393	5,928
個票枝番	主な事業内容						
	健康診査、がん検診(胃、子宮、肺、乳房、大腸、前立腺)	100,052	99,715	118,508	118,508	105,205	5,490
	骨粗しょう症検診、歯周疾患検診ほか	2,000	1,926	2,000	2,000	1,946	20
	女性特有がん検診(一定年齢到達者の無料化)	1,066	1,066	1,109	1,109	1,109	43
	大腸がん検診(一定年齢到達者の無料化)	1,382	1,382	383	383	383	△ 999
	健康診査の拡充(H29～)						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		117,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
137,197	138,456	138,456		7,983
3,893	2,900	2,900		230
	4,100	4,100		4,100
133,304	131,456	131,456		3,653
査定額	説明			
122,082	検査委託料			
2,400	検査委託料			
1,582	検査委託料			
259	検査委託料			
3,677	対象年齢の引き下げ(15歳まで)、25歳以下無料化			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 ・がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 ・各種検診受診者数(総数:47,829人) 健康診査:1,760人 胃がん:7,105人 大腸がん:10,500人 子宮がん:6,365人 乳がん:6,635人 肺がん:12,340人 前立腺がん:1,161人 肝炎ウイルス:869人 歯周疾患:399人 骨粗鬆症:695人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診の受診率の向上が課題である。 ・健康診査(18～39歳)の受診者の結果を分析した結果、すでに10歳代から生活習慣病に関連する健診項目の異常者が多いため、若年層への対策が求められる。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診を継続して実施する。 ・「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 ・がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 ・各種検診受診者数(総数:48,695人) 健康診査:1,784人 胃がん:7,352人 大腸がん:10,357人 子宮がん:6,638人 乳がん:6,997人 肺がん:12,500人 前立腺がん:1,114人 肝炎ウイルス:852人 歯周疾患:396人 骨粗鬆症:705人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診の受診率の向上が課題である。 ・健康診査(18～39歳)の受診者の結果を分析した結果、すでに10歳代から生活習慣病に関連する健診項目の異常者が多いため、若年層への対策が求められる。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 ・「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 ・健康診査の対象年齢を15歳まで引下げ、若年層の健診受診機会を広げる。 ・生命保険会社や協会けんぽと協定を締結し、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。

施策の実施方針	・若年者の健康意識向上に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診に要する費用を計上 ・健康診査の対象年齢の引き下げと一定年齢の自己負担金無料化
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・若年層の健康診査受診機会の充実に必要な経費を計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41230 訪問指導事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約	
	担当課	市民保健部 健康推進課		内線		2804	款	4		衛生費	個別分野	5		保健
							項	1		保健衛生費	施策概要	2		予防対策の推進
							目	2		予防費	根拠計画	健康たかやま21		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健指導が必要であると認められる市民及びその家族に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導の実施
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(H25比)	18%	17%	25%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		1,807	1,609	2,404	2,404	2,145	536
特定財源	国費()						
	県費(健康増進事業費2/3)	34	290	34	34	34	△ 256
	その他(特定保健指導事業雑入)						
一般財源		1,773	1,319	2,370	2,370	2,111	792
個票枝番	主な事業内容						
	訪問指導事業	1,807	1,609	2,404	2,404	2,145	536

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		2,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
2,794	2,310	2,310	△ 94	
34	34	34	0	
191	230	230	230	
2,569	2,046	2,046	△ 324	
査定額	説明			
2,310				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,940人)
評価等	・保健師の地区担当制による家族全員を対象とした訪問指導を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・引き続き、保健指導が必要と認められる市民に対し、健康の保持増進を図るため訪問指導を実施していく。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,786人)
評価等	・保健師の地区担当制による家族全員を対象とした訪問指導を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・引き続き、保健指導が必要と認められる市民に対し、健康の保持増進を図るため訪問指導を実施していく。 ・協会けんぽとの連携による訪問指導対象者の拡大

施策の実施方針	・健康増進の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・訪問指導の対象者の拡大

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	5	保健	
			項	1	保健衛生費		施策概要	2	予防対策の推進	
			目	2	予防費		根拠計画	高山市新型インフルエンザ等対策行動計画		
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2846							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対し予防接種を実施することにより、疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する。 新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小限にとどめ、社会・経済への影響を低減する。 新たな感染症に対する備蓄品の適正な管理と計画的な更新 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種(A類・B類)の実施 小児インフルエンザ予防接種に対する助成 高山市新型インフルエンザ等対策行動計画の策定 新たな感染症対策備蓄品(マスク・防護服・手袋・消毒薬等)の計画的な更新
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
定期予防接種率(A類疾患)	94.1%	85.7%	95%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		226,623	217,273	237,547	237,108	218,211	938
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		226,623	217,273	237,547	237,108	218,211	938
個票枝番	主な事業内容						
	定期予防接種(麻しん・風しん、四種・二種混合、日本脳炎等)	199,500	196,882	210,000	210,000	198,051	1,169
	小児インフルエンザ予防接種費補助金	24,598	18,118	25,000	25,000	17,868	△ 250
	感染症対策備蓄品	1,400	1,386	1,400	1,400	1,424	38

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	223,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
238,310	237,577	237,577	30
238,310	237,577	237,577	30
査定額	説明		
211,153			
25,000			
1,400	配布用マスク・防護服等		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:94.1%) ヒブ2,714人、小児肺炎球菌2,720人、4種混合2,721人、2種混合697人、BCG676人、麻疹・風疹1,391人、水痘1,414人、日本脳炎2,082人、高齢者インフルエンザ15,753人、高齢者肺炎球菌3,216人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までのお子さんに対し、9,604人の助成を行った。 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。(マスク26,000枚、高性能マスク2,400枚、防護服440セット、手袋4,000組、消毒薬80L)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、各種予防接種接種率の更なる向上が必要である。(ただし、子宮頸がん予防接種については、国の動向に沿って対応する)
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法の改正等に沿って実施する。 新型インフルエンザ等対策特別措置法・行動計画に基づいた備蓄品等の整備・更新計画により、備蓄品を適正に確保・管理する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:85.7%) B型肝炎(H28.10月~)1,012人、ヒブ2,547人、小児肺炎球菌2,557人、4種混合2,527人、2種混合639人、BCG644人、麻疹・風疹1,389人、水痘1,150人、日本脳炎2,302人、高齢者インフルエンザ15,753人、高齢者肺炎球菌3,216人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までのお子さんに対し、9,350人の助成を行った。 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。(マスク22,000枚、高性能マスク2,400枚、防護服480セット、手袋5,000組、消毒薬80L)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、各種予防接種の接種動向に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法の改正等に沿って実施する。 新型インフルエンザ等対策特別措置法・行動計画に基づいた備蓄品等の整備・更新計画により、備蓄品を適正に確保・管理する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度に対応した定期予防接種の実施
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41250 保健センター管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
	款	4	衛生費	個別分野		5	保健						
	項	1	保健衛生費	施策概要		1	健康づくりへの支援						
	目	2	予防費	根拠計画									
担当課	市民保健部	健康推進課	内線	2844									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)を、適正に管理・運営することにより、支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持増進のための拠点とする。	概要	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営
----	--	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		6,003	5,040	6,484	6,484	4,830	△ 210
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(保健衛生使用料、保健センター等使用雑入)	351	495	351	351	441	△ 54
一般財源		5,652	4,545	6,133	6,133	4,389	△ 156
個票枝番	主な事業内容						
	保健センター管理事業	6,003	5,040	6,484	6,484	4,830	△ 210

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
6,439	6,584	6,584	100
561	351	351	0
5,878	6,233	6,233	100
査定額	説明		
6,584			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数:1,033日、延べ利用者数:9,080人
評価等	・必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況等を勘案し、管理運営方針を決定する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・引き続き、保健センターの適正な管理・運営を行う。 ・効果的・効率的な管理運営方針を検討する必要がある。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数:1,040日、延べ利用者数:9,300人
評価等	・必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況等を勘案し、管理運営方針を決定する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・引き続き、保健センターの適正な管理・運営を行う。 ・保健センターの統廃合等を検討する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・老朽化に伴う施設修繕
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41300 母子保健事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	5	保健	
			項	1	保健衛生費		施策概要	1.2	健康づくりへの支援	
			目	3	母子衛生費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2846							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・母性および乳幼児の健康の保持および増進	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診・相談、赤ちゃん訪問、新生児聴覚検査 ・妊婦健康診査、妊婦歯科健診、妊婦教室、妊婦栄養支援 ・特定不妊治療費助成、特定不妊治療支援利子補給金交付 ・一般不妊治療(人工授精)費助成
----	----------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		113,189	104,914	118,255	118,255	102,823	△ 2,091
特定財源	国費 (母子保健事業費1/3)	400	400	400	400	400	0
	県費 (母子保健事業費1/3・一般不妊治療費助成事業費1/2)	2,400	1,027	2,400	2,400	820	△ 207
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	2,000		3,500	3,500	0	0
一般財源		108,389	103,487	111,955	111,955	101,603	△ 1,884
個票枝番	主な事業内容						
	母子健康手帳交付から3歳児に至るまでの母子保健活動	7,722	7,160	8,490	8,490	7,665	505
	一般不妊治療費助成	8,000	2,518	8,000	1,700	1,692	△ 826
	特定不妊治療費助成、特定不妊治療支援利子補給金	15,100	20,873	15,100	22,305	22,261	1,388
	妊婦健康診査費助成	79,040	71,717	83,600	82,695	68,892	△ 2,825
	妊婦栄養支援	600	128	600	586	106	△ 22
	新生児聴覚検査費助成	2,670	2,461	2,800	2,800	2,182	△ 279

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		118,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
123,527	119,755	119,755	1,500	
528	400	400	0	
1,228	1,650	1,650	△ 750	
	6,400	6,400	2,900	
121,771	111,305	111,305	△ 650	
査定額	説明			
8,130				
5,000				
24,100				
79,300	妊婦健康診査等委託料・妊婦健康診査費補助金			
600				
2,600	新生児聴覚検査委託料・新生児聴覚検査費補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・妊婦一般健康診査受診票を713人に交付し、9,182件の助成を行った。新生児聴覚スクリーニング検査は656人の助成を行った。妊婦栄養支援として、牛乳またはヨーグルトに対する助成を44件行った。生後2か月前後の乳児に対し赤ちゃん訪問を697人に行った。乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳)、相談(7か月・10か月・2歳)事業として3,953人に行った。一般不妊治療(人工授精)の助成を38件行った。特定不妊治療費助成を121件行った。特定不妊治療支援利子補給を2件行った。
評価等	・乳幼児健診について、すべての子どもが健診を受診するよう、その必要性を対象者に周知することが必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・妊婦一般健康診査受診票を696人に交付し、8,781件の助成を行った。新生児聴覚スクリーニング検査は575人に助成を行った。妊婦栄養支援として、牛乳またはヨーグルトに対する助成を37件行った。生後2か月前後の乳児に対し赤ちゃん訪問を630人に行った。乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳)、相談(7か月・10か月・2歳)事業として3,866人に行った。一般不妊治療(人工授精)の助成を31件行った。特定不妊治療費助成を149件行った。特定不妊治療支援利子補給を7件行った。
評価等	・乳幼児健診、相談事業について、受診率は一番低いものでも90%を超えているが、さらに受診率が上昇するよう、その必要性を対象者に周知していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・子ども・子育てに関する支援体制の確立に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・母子の健康保持及び健康増進に要する経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41310 障がい児療育事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	児童福祉	
			項	1	保健衛生費		施策概要	3	安心して子育てができる環境の整備	
			目	3	母子衛生費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2846							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・発達障がい等の早期診断・療育により、子どもの能力を最大限に伸ばすことを支援し、児童の健全な発達を促す。	概要	・地域療育相談(障がい児の診断のできる医師や療育を専門とする作業療法士、言語聴覚士、保育士等による障がいの早期発見・早期療育)の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		1,178	1,099	1,240	1,240	1,040	△ 59
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,178	1,099	1,240	1,240	1,040	△ 59
個票枝番	主な事業内容						
	障がい児療育事業(総合診断、家庭療育プログラムの作成等)	1,178	1,099	1,240	1,240	1,040	△ 59

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,300
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,176	1,240	1,240	0	
1,176	1,240	1,240	0	
査定額	説明			
1,240				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・地域療育相談(障がい児の診断のできる医師や療育を専門とする作業療法士、言語聴覚士、保育士等による障がいの早期発見・早期療育)を実施。7日間で21人の相談があった。
評価等	・市内において、乳幼児期の発達障がいに精通した医師やスタッフを確保できれば、事業費の削減が期待できる。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・診断や相談を希望する市民が早期に診断を受けられるよう事業を実施する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・障がい児を早期発見し早期療育につなげるため、地域療育相談を7日間開催し21人の相談があった。
評価等	・専門スタッフによる診断、相談する機会をつくることで、希望者のニーズを満たすことが出来た。 ・引き続き市内等近郊でのスタッフ確保に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・引き続き、診断や相談を希望する市民が早期に診断を受けられるよう事業を実施する。

施策の実施方針	・障がい者支援の充実に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41320 養育医療給付事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	4	福祉・保健	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	5	保健	
			項	1	保健衛生費		施策概要	2	予防対策の推進	
			目	3	母子衛生費		根拠計画			
担当課	市民保健部 健康推進課	内線	2844							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・養育のため病院又は診療所へ入院を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う(または養育に要する費用を支給することにより、乳児の健康管理と健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。	概要	・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う以下の医療に対し給付診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療育に伴う世話その他の看護、移送
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		4,512	4,504	4,010	4,010	3,220	△ 1,284
特定財源	国費 (養育医療費1/2)	930	930	1,600	1,600	1,050	120
	県費 (養育医療費1/4)	775	775	800	800	735	△ 40
	その他(養育医療費負担金)		1,199	800	800	624	△ 575
一般財源		2,807	1,600	810	810	811	△ 789
個票枝番	主な事業内容						
	養育医療給付事業	3,975	3,967	3,684	4,010	2,895	△ 1,072

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
4,004	4,010	4,010	0	
1,600	1,600	1,600	0	
800	800	800	0	
800	800	800	0	
804	810	810	0	
査定額	説明			
4,010				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う医療に対し給付診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送 医療券発行件数:19件
評価等	・必要な医療の給付を適正に行う。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・必要な医療の給付を適正に行う。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う医療に対し給付診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送 医療券発行件数:14件
評価等	・必要な医療の給付を適正に行う。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・必要な医療の給付を適正に行う。

施策の実施方針	・子ども・子育てに関する支援体制の確立に関する施策
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに